年間授業計画　様式

高等学校 令和６年度（３学年用） 教科　　家庭　　科目　保育基礎

教　科：　家庭　　科　目：　保育基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　1 組～　　8 組

教科担当者：細谷科子

使用教科書：（ 保育基礎　　）

教科　家庭　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え，家族・家庭の意義，家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め，家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて，生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯を見通して，家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。

科目　保育基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
保育に関する基礎的･基本的な技術を総合的に身につけている。子どもの発達の特性，生活と保育に関する知識を総合的に身につける。	子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めた上で課題を見つけ，その解決をめざして思考を深め，適切に判断し，工夫し創造する能力を身につける。	子どもの発達や保育への関心を持ち，意欲的に学習に取り組み，子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	１章　子どもの保育	１節　保育の意義 １保育とは ２ 保育の意義 ・保育の意義と重要性について，幼稚園教育要領や保育所保育指針を取り上げながら扱い，保育が人間形成にどのようにかかわるかを考える。 ２節　保育の方法 １ 保育者の役割とは ２ 一人ひとりに合わせた指導 ・保育者にはどのような資質が求められるか，またそれを身につけるにはどのようにしたらよいかなど，保育者観についての考察を深める。	【知識･技能】 発達時期の特性を考慮した保育の工夫が必要であることを理解している。 【思考･判断･表現】 ･保育者の役割を理解し，その資質や能力を身につけるにはどのような点に気をつけていけばよいかなど，考察ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ･子どもを取り巻く環境が子どもの発達に大きな影響を与えることを理解し，発達段階における発達課題に応じて，接し方･援助の仕方･適切な保育環境整備について述べられる。	○ ○	○ ○	○ ○	10
	２章　子どもの発達	１節　子どもの発達の特性 １ 発達と保育 ２ 発達の共通性と個別性 ２節　子どものからだの発達 １ 発育・発達の評価 ２ 身体的特徴 ３ 生理的特徴 ３節　子どもの心の発達 １ 社会・情緒的な発達 ２ 知的発達 ３ 言葉の発達	【知識･技能】 ･胎児の生育環境である母体に対する関心と課題意識を高めている。 ･誕生から幼児期までの子どもの身体発育，運動機能，認知機能などそれぞれの発達の特性について理解している。 ･子どもの心の発達の特徴と発達の経過について理解している。 ･遊びを通じて子どもが豊かに発達することについて理解している。 ･人間関係の発達については乳児期の愛着の発達が重要であり，安全基地を土台として人間関係が広がっていくことを理解している。	○	○	○	14
	４章　子どもの文化	１節　子どもの文化の意義と支える場 １ 子どもの文化 ２ 子どもの文化を支える場 ２節　子どもの遊びと表現活動 １遊びと発達	【思考･判断･表現】 ･それぞれの月齢･年齢ごとの身体的･生理的特徴に関心を持ち，保育に関連づけて考察することができる。 ･子どもの文化の意義を理解し，それらの役割や今後の課題について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ･子どもの発達や特性をふまえた上で，子どもの遊具等の作成に取り組んでいる。	○	○	○	10
	定期考査	ノート提出		○	○		1
2学期	３章　子どもの生活	１節　子どもの生活と養護 １ 生活と健康 ２ 栄養と食事 ３ 衣生活	【知識･技能】 ･遊びを通じて子どもが豊かに発達することについて理解している。 ･子どもの発達や特性をふまえた上で，子どもの遊具等の作成に取り組み，子どもの遊びや表現活動に関連する技術を身につけている。 ･子どもの食生活や衣生活について子どもの健康的な生活を支える保育の基礎的な技術を身につけている。	○	○	○	14
		２節　生活習慣の形成 １子どもの生活習慣 ２基本的生活習慣 ３社会的生活習慣 ３節　健康管理と事故防止 １子どもの健康管理 ２事故の防止と応急処置	･子どもの生活に関心を持ち，主体的に子どもの生活を理解しようとしている。 ･子どもの食生活や衣生活について子どもの健康的な生活を支える保育の基礎的な技術を身につけている。 【思考･判断･表現】 ･子どもが生活習慣を身につけるための援助の方法について思考を深めている。 ･子どもの健康状態を見るときのポイントや病気の特徴，予防接種について理解している。 ･子どもにおこりやすい事故を予測し，その対策を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ･子どもの生活に関心を持ち，主体的に子どもの生活を理解しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査	ノート提出、作品		○	○		1
3学期	５章　子どもの福祉	１節　子ども観 １ 子ども観の変遷 ２ 権利の主体としての子どもへ ２節　子どもの福祉 １児童福祉 ２子どもをとりまく課題と対策 ３子どもが育つ社会環境 ３節　子育て支援 １子育て支援からパートナーシップへ ２社会的養護 ３地域の子育て支援	【知識･技能】･子ども観の変遷や，権利の主体として尊重されつつある状況を理解している。 【思考･判断･表現】 ･児童福祉の基本的な考え方について理解し，子どもの幸福について自分の意見や考えをまとめることができる。 ･児童虐待の現状と対策について自分の考えを述べている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ･子育ての現状をふまえて，これからの子育て支援を考えている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
			【まとめ】	○	○	○	9
							合計 78